

1 題材名 魅力ある展覧会をつくろう

2 題材の目標

- 展覧会の展示構成を考えることに興味をもち、主体的、創造的に展示案を検討しようとする。
(美術への関心・意欲・態度)
- 鑑賞者の気持ちや行動の仕方、展示テーマなどを考えて、工夫しながら展示の構想を練る。
(発想や構想の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は展示企画の内容や会場の特性に合わせた展示構成を作成することを目的とする。展示企画、展示構成について、高等学校学習指導要領解説美術編(平成 21 年 12 月)の鑑賞研究の内容では、「展示する側と鑑賞する側の双方の立場に立って研究を行う」ことや、「作家の表現意図などを鑑賞者に分かりやすく展示する方法を考えることが大切である」と示されている。この題材を通して、展示する側がこだわりや工夫をもって鑑賞者に伝える視点が大切であることを学習し、展示の意義を理解することで、今後、自分たちで展覧会をつくり上げる活動に生かしていきたいと考える。

(2) 生徒の実態

本校美術科第3学年の生徒は、落ち着きがあり、課題に対して熱心に取り組む生徒が多い。また、休日を利用して美術館に足を運び、展示された作品を目にする機会も多い。しかし、自ら展示案を考え、作品を展示する経験はほとんどない。本校で毎年開催される美術科展では、展覧会業務全般を3年生が中心になって行っている。展示構成も生徒が考えることになるが、展示案通りに作品を展示できないことが多い。

(3) 指導観

本題材では、まず、ワークシートを活用して、各自で展示テーマや展示構成を考えるようにする。自分の考えをもつことで、後半のグループでの話し合いに主体的に参加できるようにする。なお、展示する美術作品は、生徒がテーマを考えやすいように、なじみの深いパブロ・ピカソの代表的な作品を使用する。次に、少人数のグループになり、自分で考えた展示テーマや展示構成を基に、相互に意見を出し合って展示案を作成する。その際、展示する側だけでなく、鑑賞する側の立場にも立って考える手立てとして、展示室の模型を各グループに用意し、そこに作品のミニチュアを貼り付けていく活動を取り入れる。このことにより、紙面上では想像しにくい展示室全体の様子や鑑賞者の動線の予測が具体的に把握できると考える。このように、生徒同士で意見を交換し合う場を設けることで、主体的に展示構成を行うことの楽しさを味わわせたいと考える。

4 指導と評価の計画（1時間扱い）

次	時	学習活動	評価の観点				学習活動に即した評価規準 ()は評価方法
			関	発	技	鑑	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・展示テーマを考え、展示構成を作成する。 ・展示模型を用いながら、グループで話し合い、展示構成を完成させる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・展示構成を考えることに興味をもち、主体的に展示案を検討している。(観察, ワークシート) ・鑑賞者の気持ちや行動の仕方、展示テーマなどを考えて、工夫して展示の構想を練っている。(観察, ワークシート, 展示模型)

5 本時の学習

(1) 本時の目標

鑑賞者の気持ちや行動の仕方、展示テーマなどを考えて、工夫しながら展示の構想を練ることができる。

(2) 準備・資料

教師 ワークシート、展示室模型、パブロ・ピカソのミニチュア作品、両面テープ

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（◎評価）
<p>1 学習課題をつかむ。 魅力ある展覧会をつくろう</p> <p>2 展示テーマや展示構成について考える。 ・各自でワークシートに記入する。</p> <p>3 グループごとに展示案を作成する。 ・個別の展示案を伝え合い、グループでの展示構成を決める。 ・展示模型にミニチュア作品を貼り付ける。</p> <p>4 各グループの展示案を鑑賞する。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を伝え、見通しをもてるようにする。 ・美術館で展覧会の例をあげるなどして、生徒が展示に対するイメージをもてるようにする。 ・展示用のミニチュア作品として使用する、パブロ・ピカソについての確認と補足説明を行う。 ・展示案を作成する際には、展示テーマを考えるだけでなく、鑑賞者の立場に立って考えることが大切であることを助言する。 ・机間指導を行い、見やすく分かりやすい展示構成になるように個別に支援する。 ◎展覧会の展示構成を考えることに興味をもち、主体的に展示案を検討している。（観察、ワークシート） ・ワークシートに記入したことを基にグループ内で話し合い、模型を使用して展示案を作成するよう指示する。 ・全員が活動に参加するようにして、一人に作業を任せることがないように呼びかける。 ・展示テーマを決めることに時間をかけすぎず、展示構成を考える時間が十分に確保できるよう注意を促す。 ◎鑑賞者の気持ちや行動の仕方、展示テーマなどを考えて、工夫しながら展示の構想を練っている。（観察、ワークシート、展示模型） ・鑑賞者の動線を推測し、実際の展示室の様子について、更に具体的に予測するよう助言する。（A） ・鑑賞者の立場や展示テーマに沿った構成であるか確認することを促し、方向性が定められるように支援する。（C） ・各グループの展示模型を机上に置かせ、生徒が自由に鑑賞できるようにする。 ・展示テーマが伝わるものであるか、見やすく鑑賞者の立場に立った構成であるかの視点で鑑賞するように呼びかけ、展示に関する考えを広げていけるようにする。 ・本時の学習内容を、これからの制作活動や美術科展の展示計画に生かしていくように呼びかける。